

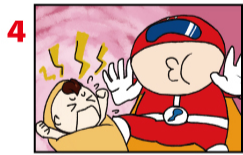
1 あらたいへん!きみはどうするかな?



2
ブルーヨン ポカポカ、キラキラ
今日とはとても、いい天気。
ジンケンダーは、ひとりで
ランランおさんぽ、たのしいな〜。



3
ブルーヨン あら、たいへん!
公園のベンチで赤ちゃんが泣いてるよ。
きみならどうするかな?
(どうする?と呼びかけて答えを聞く)
さてさてジンケンダーはどうしたかな?



4
ジンケンダ - 「赤ちゃん泣かないで…
ぼくといっしょに遊ぶのダー!
ペロペロパーナーのダー!」
(一生懸命赤ちゃんをあやすジンケンダー)
(でも赤ちゃんは泣きやまない)



5
ブルーヨン そこにお母さんが、急いで帰って来ました。
ジンケンダ - 「お母さん、少しの間でも
赤ちゃんを一人ぼっちにしちゃ、だめなのダー!」
お母さん 「よく寝てたから少しだけ大丈夫かなと思って…
本当にごめんなさい。
ジンケンダー、この子と遊んでくれてありがとう!!」
ジンケンダ - 「赤ちゃんもお母さんももう大丈夫なのダー!」



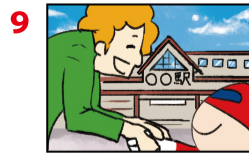
6
ブルーヨン ポカポカ、キラキラ
今日とはとても、いい天気。
ジンケンダーは、川まで来たよ
ルンルンおさんぽ、楽しいな〜。



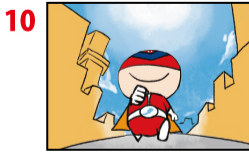
7
ブルーヨン あら、たいへん!
外国の人が、道に迷っているみたい
きみならどうするかな?
(どうする?と呼びかけて答えを聞く)
さてさて、ジンケンダーはどうしたかな?



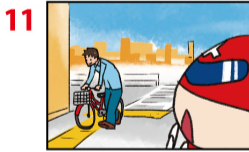
8
ジンケンダ - 「言葉がわからないけど助けないとだめなのダー!
どーしたのダー?ハロー!ポンジュール!ニイハオ!」
ジンケンダ - 「僕の言ってること、この人はわかってないのダー…
どうしたらいいかわからないのダー…」 (あたふたした様子)
外国の人 (ゆっくり)
「大丈夫です。僕は日本語が少しわかります。
地図を持っているのですが、字がよめなくて困っていました。
駅はどっちに行くのですか?」
ジンケンダ - 「そっか〜、じゃあ僕が連れて行ってあげるのダー!」



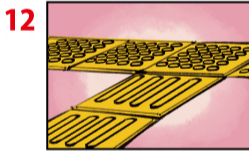
9
外国の人 「やさしくしてくれてありがとう!」
ジンケンダ - 「外国のひとにも、自分から声をかけて
助けるのダー!」



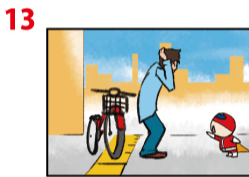
10
ブルーヨン ポカポカ、キラキラ
今日とはとても、いい天気。
ジンケンダーは、街まで来たよ。
ランランおさんぽ、たのしいな〜。



11
ブルーヨン あら、たいへん!
点字ブロックの上に自転車を とめちゃった!



12
ブルーヨン みんな点字ブロックって知ってるかな?
道にある点々のついた黄色いブロックを見た事あるよね。
あれは目の不自由な人のための大切なものなんだよ。
目の不自由な人はあの点々のでこぼこを、杖や足で感じて、
道を間違わないで、歩いているんだよ。
だからその上に物があるとぶつかっちゃうよね。
点字ブロックの上に自転車を停めちゃった人に、
ジンケンダーはどうするかな?



13
ジンケンダ - 「そこに自転車を停めちゃいけないのダー!」
青年 「だって、ちょっとだけだからいいんじゃないの?」
ジンケンダ - 「目の不自由な人が歩いて来たとき、自転車があつたらぶつかっちゃうのダー!
いつ目の不自由な人が歩いて来てても大丈夫なように、空けておかなきゃ
だめなのダー!」



14
青年 「点字ブロックがあつたんだね。僕、気がつかなかったよ…
ジンケンダー、注意してくれてありがとう!」
ジンケンダ - 「みんなも、気がついたら注意するのダー!」



15
ジンケンダ - 「ポカポカ、キラキラ
今日とはとても、いい天気
みんなも、誰かが困っていたら
しらんぷりは、よくないのダー」
ジンケンダ - 「さてさて今日は、たくさん歩いて
たくさん人のヒトに会えて楽しかったのダー!
あしたはキミの街へ行くかもしれないのダー!」

バイバイ おしまい